



鹿屋市立 吾平小学校

児童数 214 人
学級数 12 クラス



《テーマ》

一人一人が生き生きと主体的に取り組む学び合いの実践
～人権教育の視点から更に学習活動の充実を図る～

研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校ではこれまで、「間違えても大丈夫、教えてくれるから大丈夫、となりの人は大丈夫？」等の吾平小スタンダード（主体的に取り組む学び合い）の実践を重ね、学習の支持的風土を醸成してきた。今年度は、人権教育の観点から更に教育活動の充実を図るために、重点教育課題を「雰囲気づくり」とし、落ち着いた雰囲気の中で、児童がしっかり学び、生き生きと活動し、安全に生活する力を確実に付けさせたいと考え、本テーマを設定した。

研究の実際

4月10日(月)職員研修「研究推進計画」
6月19日(月)職員研修「人権教育の視点に立った教科指導の在り方：算数科研究授業」
10月11日(水)職員研修「性の多様性について」
11月16日(木)職員研修「人権教育の視点に立った学級経営・生徒指導：道徳科研究授業」
1月18日(木)職員研修・小中一貫研修「一人一人と向き合う『Momによる人権教育の推進』」
2月19日(月)職員研修「人権同和教育の研修のまとめと次年度の取組について」

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 校内人権月間の取組（全校）

- ・ 人権に関する授業（道徳・学活）
期間中に全学級で、45分間の授業を実施する。
- ・ 人権に関する学習（ショート）
期間中に15分程度で、読み聞かせ、構成的グループエンカウンター（SGE）、アニメ「めぐみ」（短縮版）視聴を実施。



【授業中の学び合い】

□ 人権集会（全校）

全校朝会では「人権は命の誕生と同時に全ての人のもっているものである」こと「自分のことも相手のことも大切にすること等について知り、人権についての理解を深めることができた。

□ 人権標語・ポスターへの取組

人権に関することばや標語の作成を全ての学級で行い、掲示した。



【人権標語の掲示】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの姿、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 授業を通じた全校一斉の研修によって、人権についての知識を共有でき人権教育の視点に立った指導実践につなげることができた。
- 45分の授業、15分間のショート等で人権に関する学習を繰り返し行うことによって、児童の人権感覚が培われ、問題意識をもったり、気付き・考え・実行する姿が見られたりするようになった。
- 吾平地区内の教職員が一緒になって人権同和教育課指導主事が行う研修を受けたことによって、地区内で人権感覚を向上させる意識が高まった。